

2021年7月28日

時事通信社

◎個人情報入りUSBメモリー紛失に関するお知らせとおわび

このたび、当社福島支局の記者が業務に使用した個人情報入りのUSBメモリー1個を紛失したことが判明しました。以下、概要をお知らせするとともに、関係先の皆さまに深くおわび申し上げます。

USBは、記者が主に業務用パソコンデータのバックアップや複合機を使ったデータのスキャン、印刷のために利用していました。紛失したのは、記者が最後に使用した状況から、2020年2月下旬から3月中旬ごろとみられ、場所は不明です。記者はUSB紛失について、社への報告や警察への届け出をしていませんでしたが、福島県警から今年1月に記者関連のデータが入ったUSBが見つかったと連絡を受け、社に報告したことから判明しました。

USBには、当社を含め福島県内の報道機関に提供された同県の東京五輪聖火リレー走者一覧（19年12月）や県警定期人事異動発表資料（19年3月）のほか、記者が取材した内容のメモ等が記録されていました。氏名を含む個人情報は最大581件で、このうち約80件は、氏名と関連した個人の住所もしくは電話番号、メールアドレスなどの連絡先が記載されたものです。現時点で、個人情報の流出等は確認されておりません。

当社は連絡先を把握している皆さまに対し、文書または電話による説明とおわびを申し上げているところです。当該記者に対しては、紛失に気付いてから社への速やかな報告を怠っていたことから、厳重に注意しました。今後は個人情報の管理体制をより強化し、再発防止に努める所存です。

関係者の皆さまには、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしたことを、重ねて深くおわび申し上げます。

以上